



リミテッドモデルのピュアオーディオ仕様を凝縮 高性能デジタルアンプ搭載のコンパクトオーディオ

New CR Series

ピュアオーディオの品質を高める中で、日本の住環境に適したコンパクトサイズでの実現は重要な要素になります。オンキョーはアナログアンプより大きなパワーとピュアな再生能力を獲得できるデジタルアンプの開発に着手し、同時に小型化できる特性も追求してきました。そして2006年、CRシリーズは高性能デジタルアンプテクノロジー「VL Digital」を搭載した最小のオーディオとして誕生。2007年にはリミテッドモデル「CR-D1LTD」をリリースし、フルサイズオーディオの半分に満たないサイズで大型スピーカーをも鳴らしきる高い能力を実現して市場に衝撃を与えました。新モデルのCR-D2では、そのリミテッドモデルで培われた高度な制振手法を徹底して踏襲。音楽の感動を決定づける小さな音楽情報まで正確に表現するピュアな再生能力をさらに高めています。また組み合わせに最適な推奨スピーカーもブラッシュアップ。大型オーディオの購入をあきらめていた方にもご好評をいただいているCRシリーズが、またひとつプレミアムな仕様を進化させました。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

ONKYO[®]

プレスお問合せ先 オンキョー株式会社 マーケティング部 山本誓一 TEL.072-831-8005
写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/ の「New Products」より当製品をクリックください
掲載時のお客様お問合せ先 オンキョーコールセンター TEL.050-3161-9555



CR-D2

CD/FMチューナーアンプ

¥61,950(税込) 9月11日発売予定

- アルミ製側板とスチール製天板など、オーディオ品質にこだわり抜いたリミテッドモデルの制振対策を投入
- 圧倒的なピュアサウンドを実現するデジタルアンプテクノロジー「VL Digital」回路を搭載
- 電源部に大容量のカスタムトランスを搭載して、安定性や応答性に優れた電源回路を構築
- 微小な音楽情報の正確な再現に貢献する、カスタムコンデンサを採用
- デジタルノイズを完全除去する特許技術回路「VLSC」搭載。音の实在感や音場再現を飛躍的に向上
- リニアPCM、MP3によるCD-R/RWの再生に対応
- 音質劣化を防ぐ金メッキ仕様のフロント端子とスピーカー端子を装備
- iPod専用ドックやMDデッキなど、多彩なオプション機器とシステムアップできる豊富な入出力端子

定格出力	40W+40W(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.5%以下)
実用最大出力	60W+60W(4Ω、JEITA)
アンプ部周波数特性	10Hz~60kHz/+1dB、-3dB(LINE1)
アンプ部SN比	100dB(LINE1、IHF-A)
音声入出力端子	入力: デジタル1、アナログ3、ステレオミニ1 出力: デジタル1、アナログ2、ステレオミニ1、サブウーファープリ1
最大外形寸法	本体部: W205×H116×D338mm
質量	本体部: 5.1kg
付属品	リモコン



D-D2E

2ウェイ・スピーカーシステム

¥24,150(税込) 2台1組 9月11日発売予定

- 最先端のスピーカー技術を徹底して投入した、小型ブックシェルフスピーカー
- 質感のある豊かな低音再生を実現する「10cm A-OMFモノコックウーファー」
- ヴォーカル帯域の細やかなニュアンスも再現する「3cmリングツイーター」
- バスレフダクトをキャビネットから分離。よりクリアな低音再生を実現する「アドバンスドAERO ACOUSTIC DRIVE」
- ウーファー振動板は新製法により強度を高め、小音量時の再生能力を大幅に向上
- 振動板を支えるダンパーも新開発。微小信号への応答性を高めて、ヴォーカル帯域の表現力を向上
- 肉厚のキャビネット素材を採用。重量級の各ユニットを強固に支えて響きをバランスよくコントロール
- 太いケーブルもしっかりとホールドする金メッキネジ式スピーカーターミナル

定格インピーダンス	4Ω
最大入力	120W
定格感度レベル	81dB/W/m
周波数特性	50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	2.5kHz
キャビネット内容積	4.5リットル
最大外形寸法	W148×H260×D222mm
質量	4.1kg
付属品	スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8
防磁設計(JEITA)	



D-112EX

2ウェイ・スピーカーシステム

¥48,300(税込) 2台1組 9月11日発売予定

- 専用スパイクを付属。制振効果を高め、より上質なサウンドを演出する小型ブックシェルスピーカー
- 質感のある豊かな低音再生を実現する「10cm A-OMFモノコックウーファー」
- ヴォーカル帯域の細やかなニュアンスも再現する「3cmリングツイーター」
- バスレフダクトをキャビネットから分離。よりクリアな低音再生を実現する「アドバンスドAERO ACOUSTIC DRIVE」
- ウーファー振動板は新製法により強度を高め、小音量時の再生能力を大幅に向上
- 振動板を支えるダンパーも新開発。微小信号への応答性を高めて、ヴォーカル帯域の表現力を向上
- 工芸品のような美しい光沢とやわらかな音質を両立。リアルウッド突き板仕上げを採用
- 太いケーブルもしっかりとホールドする金メッキネジ式スピーカーターミナル

定格インピーダンス	4Ω
最大入力	120W
定格感度レベル	81dB/W/m
周波数特性	50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	2.5kHz
キャビネット内容積	4.2リットル
最大外形寸法	W156×H249×D218mm
質量	4.2kg
付属品	スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8、スパイク×8
防磁設計 (JEITA)	

主なテクノロジー

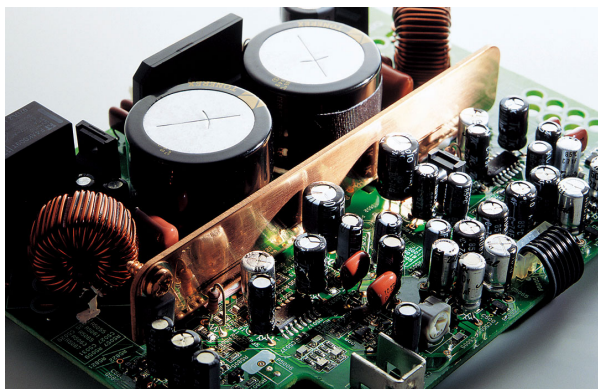
リミテッドモデルのピュアオーディオ品質を踏襲

オーディオ機器の内部で使用されるコンデンサなどの電子部品は感度の低いマイクの役割にもなり、再生時のスピーカーの音圧などによる振動を拾って電氣的ノイズを発生させます。このノイズが音楽の質感、ヴォーカルや演奏のニュアンスを表現する微小な情報をマスキングして音楽のピュアネスを損なってしまいます。

CR-D2の筐体は共振に強いシャーシを採用し、剛性の高いアルミニウム素材のパネルをフロントと側板に採用。リミテッドモデル「CR-D1LTD」と同様に側板はリブを設けて強度を高め、天板は1.2mm厚のスチール素材を使用し上面から筐体をしっかり抑えて制振性を格段に向上させています。さらにCDドライブメカや回路基板、各部品の振動対策まで徹底して行い、リミテッドモデルに勝るとも劣らないピュアな表現力を獲得しました。

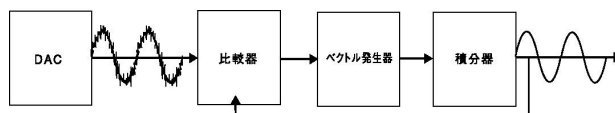


圧倒的なピュアサウンドを実現、「VL Digital」アンプ
音楽の躍動感をありのままに再現する圧倒的なピュアサウンドを獲得したデジタルアンプテクノロジー「VL Digital」回路を搭載しています。電源部には大容量の電源トランスをカスタムで開発し、デジタルアンプに求められる安定性や応答性に優れた電源回路を構築。さらに電力供給ラインには極太の銅バスのプレートを使用して超低インピーダンス化を実現、ハイレベルな「HICC」(瞬時電流供給能力)をさらに高めて電源のエネルギーをストレートにスピーカーに送り込めるよう万全の配慮をしています。画期的なデジタルアンプ技術が、大型スピーカーをも鳴らしきる超小型高性能オーディオを実現しました。



ピュアなアナログ変換を実現、特許技術「VLSC」

アナログ変換回路にはオンキヨーが誇るピュア変換技術「VLSC」回路を搭載しています。VLSC (Vector Linear Shaping Circuitry) は「比較器」と「ベクトル発生器」、「積分器」で構成され、まったく新しいアナログ信号を生成。通常のローパスフィルターを使用したものと比較して、音の実在感や音場再現が飛躍的に改善されています。



主なテクノロジー

組み合わせ推奨スピーカーもブラッシュアップ

CR-D2にふさわしい組み合わせ推奨スピーカーとして、D-D2E/D-112EXを同時開発いたしました。小口径でも質の高い低音再生を実現するA-OMFモノコックウーファー、ヴォーカルの再現性に秀でたリングツイーターやAERO ACOUSTIC DRIVEなど最先端のオンキヨースピーカーテクノロジーを投入し、さらなるブラッシュアップを施した本格単品モデルです。A-OMFモノコック振動板は新製法により振動板の強度を向上し、小音量時の再生能力を高めることに成功しました。またダンパーも新素材のものを開発。柔軟性を高めることで微小信号への応答性を向上して、ヴォーカル帯域の細やかな表現力を高めています。

さらにD-112EXには、ワンクラス上の仕様として専用スパイクを付属しています。点集中の設置で制振効果を高め、安定性を確保するだけでなく音質調整が可能に。スパイクを使用することで低域は引き締まり、中高域はよりクリアになります。ヨーロッパアンティストのデザインやリアルウッドの上質な突き板仕上げと相まって、高級感にあふれる美しい外観を演出。その他にもより肉厚の側板を採用し、キャビネット内部にカ木(ちからぎ)を配置するなど、さらに繊細な音楽表現力を求めて音質チューニングを施しました。



D-112EXにはプレミアム仕様ともいえる専用スパイクを付属

高品位な低音増強を可能にするバスレフ技術

バスレフはキャビネット内で発生した空気振動エネルギーを放出して、低音再生を増強する技術です。一般的に採用される丸型円筒ダクトの形状ではキャビネット内部で発生したノイズを放出しやすいため、微細なニュアンスの表現力が欠けた低音再生になりがちでした。D-D2E/D-112EXのバスレフダクトには、独自のスリット形状と構造を採用したトップレベル技術「AERO ACOUSTIC DRIVE」を投入しています。これによりノイズの発生を防ぎ小音量でも質感を伴う豊かな低音再生を実現。さらにはバスレフダクトをキャビネットから分離するアドバンスド構造により、お互いの振動の影響を抑えてノイズ放射をより一層低減しています。

